

藤枝市文学館第36回企画展

加藤まさを

詩と画の魅力

2013年
12月18日 水



2014年
2月2日 日



藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子 500 番地 (蓮華寺池公園内)

TEL : 054-645-1100

藤枝市郷土博物館・文学館

検索

開館時間: 午前9時～午後5時

入館料: 大人200円、中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方および必要な介助者は無料(博物館・文学館共通)

休館日: 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始(12/28～1/4)

交通案内: JRの場合・・・JR藤枝駅から「新静岡行」バス10分、「蓮華寺池公園入口」下車、徒歩5分 / お車の場合・・・国道1号緑町交差点経由、または藤枝バイパス(東から)藪田東IC、(西から)谷稲葉IC経由

月の沙漠をはるばると 旅の駱駝が行きました—

童謡「月の沙漠」は、大正12年(1923)に発表され、情緒的な歌詞とメロディーで広く親しまれ歌い継がれてきました。発表から90年を経た現在でも、その詩は色あせることはありません。加藤まさをの名はこの「月の沙漠」の作詞者として知られていますが、それ以外にも多くの詩や童謡を作り、また、大正から昭和初期の少女たちに人気の抒情画家としても活躍していました。

その詩や画は、ときに可愛らしく可憐で、ときに異国情緒たどようロマンティックな雰囲気をもっています。詩と挿画が一体となった独自の世界をつむぎだす一方で、少女雑誌などの口絵や挿画では少女たちの憧れを表現していました。

今回の企画展では、藤枝市文学館収蔵品の中から、童謡集・抒情詩集・少女雑誌などを中心に詩と画を紹介し、大正ロマンの世界へといざないます。繊細で純真な魅力を放つ加藤まさをの世界をどうぞお楽しみください。

藤枝市文学館第36回企画展

加藤まさを

詩と画の魅力



『少女画報』付録「睡蓮」



『加藤まさを抒情画集』より



『カナリヤの墓』より「おきくむし」

加藤まさを (1897-1977)

藤枝出身の抒情画家・詩人。幼いころから絵を描くことや歌を歌うことを好み、学生時代から詩や童謡、画を発表しており、上方屋平和堂から刊行した絵はがきが人気をよび、一躍有名になった。抒情詩や抒情画は主に少女雑誌などで発表され、当時の少女たちの人気を呼んだ。大正12年に発表された「月の沙漠」は佐々木すぐるにより美しい曲を得て今も広く愛唱されている。



関連イベント



大正ロマン 癒しの歌声 ミニコンサート

と き／2014年1月13日(月・祝)

①午前11時～ ②午後2時～ (各回40分程度)

ところ／郷土博物館エントランスホール ※申込不要・入館料が必要です

出演／実胡さん(童謡・抒情歌手)

「月の沙漠」「ゴンドラの唄」「琵琶湖周航の唄」「故郷」など、大正ロマンの雰囲気たっぷりに癒しの歌声をお楽しみいただけます。



れんげじ池おはなし会

と き／2014年1月18日(土)午後2時～ ※申込不要・参加無料

ところ／文学館子ども学習室 おはなし／ひろはたおはなしの会のみなさん

加藤まさを『合歓の揺籃』より・詩「お人形」「雪の子」など

干支のおはなし・郷土の昔話「絵馬からぬけだした馬」など



『少女倶楽部』昭和4年7月号付録「薔薇」